

学校支援ボランティアが教育現場に入るには……

学校を訪問時は、所定の腕章と氏名札を着用する

- ・学校にとって、SSVCのメンバーであることの証明
- ・支援者にとって、気持ちを引き締める効果もある



17

学校支援ボランティアの学校の受け入れ

- ① 計画的な支援要請
- ② 先生との意思疎通
- ③ 支援者の存在感を明確に



学校入り口の階段に 欅迎の看板)



廊下には大きなボランティアの顔写真

18

学校支援ボランティアの支援活動のひとこま



中学校英語
ベースッククラス・マンツーマン方式

中学校英語授業風景・机間巡回



学校支援ボランティアの活動のひとこま



読み聞かせ（猿山谷小）

ミシン掛け（堀越小）



学校支援ボランティアの支援活動のひとこま

・・・古民具実演
昔の農機具



足踏み脱穀の実習



洗濯板を使って
汚れ落としを実習

学校支援ボランティアの緊張が取れる瞬間

緊張した支援を終えホッとして、給食をいただく瞬間



22

学校支援ボランティアが年度末に受ける感動の瞬間

- 感謝の集い・・支援の最終日、生徒一人ひとりから、バラの花と感謝の小冊子
お礼の言葉、全員の合唱プレゼントをいただく!!



!! 生徒から感謝され、学校から評価いただき感動の瞬間 !!

学校支援活動の評価をどうしているのか

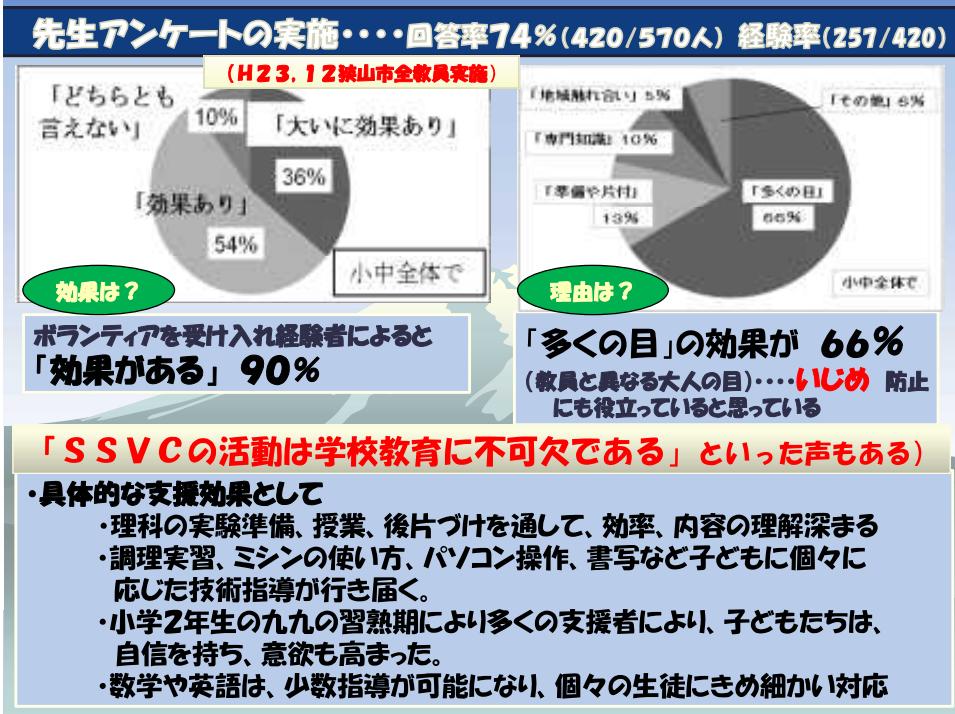
- 「諮問会議」を開催（各年度末）
広く識者の意見・助言・提言を頂き運営の資とする

- 委員構成…7名 大学教授2名、小中学校校長各1名
PTA会長、子供教室代表、親父の会代表

現状報告のあと 貴重なご意見を頂戴する



24



まとめ

.. 学校支援ボランティア
活動を通して感じる事 ..

1. リタイヤ後の人生…生涯学習の成果、仕事、人生で培った経験、知識、趣味を子どもたちに生かす場である
2. 新しいシニアライフ…シニアの地域レビューには、いきかいづくり、仲間づくりの為に「最高の舞台」である
3. 学校と地域が一体となり、地域の教育力の向上、地域の活性化にシニアの力が役立っている
4. 市民協働の大きな担い手として、シニアがかかわることで介護予防事業にもなっている
5. このような活動のネットワークづくりや参加を呼び掛ける為にICT(情報ネット)を駆使して、情報発信をする必要がある

*Thank you
for your attention.*

お問い合わせ

狭山市学校支援ボランティアセンター事務局（略称SSVC）

所在地：狭山市狭山台4-26（狭山台中学校南棟2F教室）

TEL&FAX : 04-2927-1395

E-mail : sayama-ssvc@bd.wakwak.com

開室日 : 月・火・金曜日の13:00~16:00

(学校の長期休業中と祝日を除く)



28